

平成 20 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社エムピーエス
代表者名 代表取締役社長 山本 貴士
(Q-Board・コード：1401)
問合せ先 管理部長 徳永 昌裕
電話番号 0836-37-6585

平成 20 年 5 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 7 月 13 日の決算発表時に公表した平成 20 年 5 月期の通期業績予想について下記のとおり修正いたしますのでお知らせ致します。

記

1. 平成 20 年 5 月期通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 6 月 1 日～平成 20 年 5 月 31 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,172	62	71	37
今回発表予想 (B)	1,101	9	43	60
増減額 (B - A)	71	71	114	97
増減率 (%)	6.1	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 5 月期)	838	30	50	28

2. 修正の理由

売上高につきましては、不動産販売等は順調に推移したものの、完成工事において当初の計画を下回ったため、前回予想に比べ 71 百万円の減少となる見込みであります。

営業利益につきましては、受注工事の大型化に伴う原価率の上昇、将来的な事業エリア拡大に備えた施工・営業担当社員の採用、営業活動強化コストの発生等や貸倒懸念債権の増加による貸倒引当金繰入額の増加により 9 百万円 (前回予想比 71 百万円の減少) になる見込みであります。

経常利益につきましては、サブプライム問題に端を発した円高の影響を受け、デリバティブ評価損 55 百万円 (実質損は発生しておらず評価損のみであり、キャッシュフローに影響はしておりません) を計上したことにより 43 百万円 (前回予想比 114 百万円の減少) になる見込みであります。

当期純利益につきましては、過年度に対する工事補償引当金、不動産売買契約の解約に伴う違約金等を特別損失に計上したことにより、60 百万円 (前回予想比 97 百万円の減少) となり通期の業績予想を下回る見通しとなりました。

以上

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しております。そのため、不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。